

第 2 回加賀市公共施設マネジメント外部検討委員会の主な意見等

開催日時：令和 4 年 3 月 15 日（火）17：30～19：30

開催場所：オンライン会議

出席委員：武田委員、高山委員、道地委員、北村委員

事務局：横堤政策戦略部長、藏政策戦略部政策官、柴田総務部長、岡田政策戦略部次長、小出仙スマートシティ課マネジャー、奥野財政課長、細野スマートシティ課リーダー 他

説明員：【ゆけむり健康村、山中温泉文化会館】新家山中温泉支所長、河嶋振興課長【加賀市文化会館】西川文化振興課リーダー、大西文化振興課主事【プール】田中スポーツ推進課長、児玉スポーツ推進課リーダー

- 次 第：1. 開会
2. 第 1 回委員会の振り返りについて
3. 現地視察について
4. 施設分類別の検討について
①観光・文化・産業（温浴）について
②集会施設（大ホール機能）について
③スポーツ施設（水泳）について
5. 今後の進め方について

主な意見等

4. 施設分類別の検討について

①観光・文化・産業（温浴）について

＜検討対象：ゆけむり健康村＞

- ・現地視察により、非常に贅沢な空間を有する施設であり、維持管理費がかさむことが理解できた。また、機械設備等の劣化が進行しており、早急な対応が必要な状態である。
- ・指定管理者の事業収支は赤字が続いており、収益性も低い施設であるため、経営改善の見込みは薄いと考える。
- ・複数の機能を有する複合施設であるが、近隣にそれぞれの代替施設があるため、総合的に廃止する施設として優先度が高い。
- ・“道の駅”は規模が小さいが、加賀市と福井県方面とを結ぶところに位置するため、施設や駐車場の規模等を見直すことで、山中温泉地域の魅力を高める施設にできる可能性があるのではないかと。
- ・以上より、“ゆけむり健康村”は廃止とする優先度が高い施設として検討を進める。

なお、“道の駅”は引き続き活用していくか管理運営方法も含め今後も検討していくことが望ましい。

②集会施設（大ホール機能）について

＜検討対象：加賀市文化会館、山中温泉文化会館＞

- ・加賀市の人口規模を踏まえると大ホール機能は1つでよいと考える。
- ・山中温泉文化会館の大ホールの利用は、太鼓等の定期練習が主であり、利用1件あたりの利用人数が少ないことから、本来の大ホールとしての利用目的（1,000人以上を収容する利用）を果たしていない。
- ・地域の文化振興のためには、太鼓等の定期練習の場は必要と思われるが、大ホール機能を有する施設までは不要と考える。
- ・以上より、耐震性などの安全面や施設の老朽化、これらの対策工事費等の負担を踏まえると山中温泉文化会館は廃止とする優先度が高い施設として検討を進める。なお、現在使用している各種団体事務所や、地元の会合・定期練習等が開催できる代替施設を検討することが必要である。

③スポーツ施設（水泳）について

＜検討対象：屋外水泳プール、屋内水泳プール、飛び込みプール＞

- ・現地視察では、屋外水泳プールと飛び込みプールにおいて著しく老朽化が進んでおり、このまま使用するには危険な状態であることを確認した。
- ・屋外水泳プール及び飛び込みプールは、利用期間が制限されており利用者数が少なく、現在故障中のろ過装置の更新に対する効果が低いと考えられるため、廃止とする優先度が高い施設として検討を進める。
- ・屋内水泳プールは市民の健康増進のためには必要な施設と考える。ただし、既に耐用年数を超過し老朽化が進行していること、および駐車場が不足していることを踏まえ、建替えまたは大規模改修などの対応を検討することが必要である。